

2021年度

三重大学 人文学部法律経済学科

# 特殊講義「協同組合論」



<第1回>

## 「企業・行政と市民セクターとしての協同組合」

青木 雅生／三重大学人文学部教授

三重大学で2021年度「協同組合論」全15講義が始まりました。今年度の講義は、対面とリモート（ZOOM）を併用した講義となります。協同組合とは何か、どのような役割があり実践があるのか、そして協同組合の今後について、学び考えます。

### 第1回（10月4日）：受講65名（対面25名、リモート40名）

現代の資本主義社会において活動する組織として、企業や行政などのほかに市民セクターがある。そのひとつが協同組合である。

協同組合論は、市民などの自発性に基づいて組織される協同組合の本来の役割や意義を歴史的な経緯も含め理解し、現代社会の諸問題について考え、未来への課題を共有し、検討していくこと、協同組合と未来を担う学生との関係、地域との関係などの可能性についても検討していく。

#### 【第1回／講義の要旨】

- ・授業の概要や、学修の目的、到達目標などについてガイダンスをおこなった。
- ・社会、とくに経済は資本主義経済における企業の競争によって、社会や生活は豊かになってきた。その一方で社会生活の安全安心を脅かす種々の問題が引き起こされている。
- ・現代の資本主義社会において、企業と行政では担いきれず、市民の自発的・主体的取り組みによってまかなわれている。その主だったものに協同組合がある。
- ・協同組合が、なぜ生まれ存在するのか、経過や現在の活動と課題、未来においてどのような役割が期待されているのかを検討することが必要である。
- ・協同組合を一口に言えば「たすけあい」の組織である。消費者は生産者の、生産者は消費者の、それぞれ互いの事情を知るようになると、よい関係性が構築できると考えている。
- ・資本主義経済の進展とともに貧富の格差が著しくなる中、競争原理とは一線を画しつつ消費者や生産者たちが対抗する組織として協同組合を設立する動きが広がってきた。
- ・協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的なニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。
- ・企業でも行政でもない存在として組織・団体の中で、協同組合を取り上げ、現代と未来における協同組合の存在意義と役割を考えたい。

## 第1回講義／受講生のレポート（抜粋）

- 今回の講義で協同組合について、歴史からその魅力、現状まで学んだ。その中でも協同組合の存在意義として、機能があるということ学んだ。一つは運動組織としての組合であり、二つ目は経済的組織としての組合であった。前者は協同組合と聞いて私がイメージした組合であり、弱い立場の人が強い立場の人と公平に話し合えるような意味合いを持つと認識していた。しかし、後者の事業開発のための組織にもなりうるということで、今後の講義で協同組合が事業を開発していくうえでどのような役割を持っているのかを頭に置き学んでいきたいと思った。
- ガイダンスを通して、この講義は様々な人の協力の上で成り立っているということを知り、驚いた。そのことに感謝を示すとともに、私も最大限真摯な姿勢でこの講義を受講し、多くの学びを得たいと率直に感じた。私は、NPO法人でのインターンの経験があるのだが、その際には市民セクターの重要性、そして、市民セクターが他のセクターと協働する重要性について学ぶことができた。当該講義においては、市民セクターの核をなす考え方でもある自治と相互扶助の考えを体現する協同組合のことについて深く学ぶことができるので、私のこれまでの知識と経験を活かしつつ、協同組合について学ぶことによって、市民セクターを柱とする今後の社会の在り方を深く考察していきたい。
- 協同組合は社会の中で大きな役割を担っている。協同組合の取り組みについて深く知り、学ぶことで、社会の直面する問題も見えてくると考えた。
- 今まで生活協同組合と企業の違いを意識することがなかったので設立の意義や目的など異なる点が多くあるので、その点に注目していきたい。また、買い手と売り手の距離があるため、闇が出来るとするのは非常に納得した。現代はコロナの影響もあり、つながりが希薄になりつつあるのでそこを解決する役割を担うことも可能なのかなと感じた。
- 今回の講義を通して協同組合というものは自分たちの生活を守るためには必要なものであると感じた。また、これから協同組合をどのように発展させていくかということも常套問題であると感じた。
- コロナ禍において大学生協は存続すべきか、という問題が一番興味深く感じました。コロナ禍以前の大学では学生生活を大いに支えた一種のインフラともいえるような組織だったと思いますが、ここ2年間はほとんど動くことができなかったというのは組織として大変厳しい状況だったということは容易に想像できました。コロナ禍の大学生協において、生協にしかできない、もしくは生協が取り組むのが最も適切だと考えられる事業は他にも存在すると思います。今回の一度の講義だけではまだそれが何か導くことはできませんが、今後の講義を通してこの点について考えていきたいです。
- 協同組合と聞いて真っ先に思い浮かぶのは三重大大学の生活協同組合で他の組合をあまり知りませんでした。しかし、消費者協同組合や生産者協同組合など私たちの生活に関わる協同組合があり、私たちの生活をより良いものにしようと様々な活動をされていることを理解しました。変わりゆく時代に合わせて協同組合が活動を工夫されていると感じ、これからの将来に合わせて私自身も活動を考えていきたいと思いました。また、これから私の地元である三重県における協同組合について講義で理解するとともに自主的に調べていこうと感じました。
- 現代社会においてどのような分野でどういったことが問題となっているのかを知り、自分自身で問題を是正する案を考えられるように、講義を受けていきたいと感じました。また、実際に実務家として活動している方々のお話を聞ける機会は貴重な体験なので、受け身になって聞くのではなく主体的に学びたいと思いました。

- ・今回の講義は主に協同組合とは何かというテーマであったが、説明を受けてもあまり実感がわかなかったというのが率直な感想である。先生もおっしゃっていたように、本来であれば大学生協が我々にとって一番近い存在であるはずである。しかしながら、私は教科書の注文の際に利用しているだけであり、しかもweb注文であることから、なかなか身近には感じられていないのが現状である。生協の存在意義や役割を授業を通じて考えていくのと同時に、ウィズコロナの時代に、我々学生にとって生協がより身近に感じられるようにするにはどのようにすればよいかという点も考えていきたいと感じた。
- ・協同組合において協同という漢字が用いられている意味は少人数の意見などを排除することをせず、立場はそのまま一人一人をより尊重するためであるということを今回の講義で学んだことを通して、協同組合は自分自身の得意なこと、持っている情報は他の組員に分け合い、反対に苦手な部分、知らない情報は分け合ってもらいなどの相互に補い合う関係が必要不可欠だと感じた。また、多様化する社会で行政が対応しきれていない部分が多く出てきている中で、これまで私は行政がなんとか工夫をして処理していくべきだと考えてしまっている部分もあったが、もともとは自分達でやっていたはずであるということを講義で改めて学んだことで私達の生活は行政に頼りすぎてしまっている所が多いのではないかと考えるとともに根本から今の考え方を改めていく必要があると感じた。
- ・協同組合の今後のあり方について考える上で、現状の情報をもっと知らなければならぬと感じました。講義の中で、新型コロナウイルスの流行によって多くの大学生協の経営が難しくなっていると聞いて驚き、また同時になぜ気がつかなかったのだろうとも思いました。自分達の生活に身近な協同組合の現状、課題、価値等、今までに考えた機会が少なかった分、講師さん達のお話をよく聞き、それらの答えを自分の中で見つけながら講義を受けていきたいと感じました。また私自身は生協に加入していますが、今回の講義で学んだ相互自助、相互扶助の関係とは体感では少し異なっているかもしれないと感じました。組合員はお客様か？という疑問についてもよく考えたいと思います。
- ・協同組合論を受講することを通して、協同組合についての理解を深め、また協同組合に対する自分の意見が持てるようにしたいと感じました。
- ・社会的な問題を当事者として背負う人にしか見えない視点があるため、企業や行政よりも状況に応じた優れた取り組みができそうだと思います。また、協同組合という存在は知っていましたが、どのような成り立ちで生まれた組織なのかということに関しては知りませんでした。なので、協同組合が弱者で手を組んで生まれたというのには驚きました。
- ・前期にて現代の資本主義社会には行政と利益を求める企業だけでは解決できない隙間があり、その隙間を満たそうとする人々のことを学びました。今回の講義の冒頭の部分はそれと重なるところがあり、理解しやすいものでした。同時に、ロッチデール公正先駆者組合や、消費者協同組合、生産者協同組合、信用組合の生まれた意味について、納得することができました。協同組合がなければ、力の強いものがそうでないものを搾取し続ける、不平等が罷り通る世界になることが予想できたからです。世の中に行政と利益を求める企業だけでは解決できない隙間が存在し、格差が広がる時代といわれる今だからこそ、協同組合が必要とされているのではないかと、第一回を終えて感じました。

以上